

第25回 SRお客様交流会

2017年10月6日(金) 大田区産業プラザPiO

安全追求と人財育成が企業を成長させる! SRで安全技術向上と業務改善を継続中

アサヒロジスティクス株式会社 様

これが我が社の
SR導入効果

SR全社平均得点が**91点以上!!**
運転技術+安全意識+燃費UP

※ 2016年度の全社平均得点(30拠点、ドライバー1,590名分)

品質は最重要項目、CS=ES=CSの
好循環こそが良い会社を創り出す

弊社は、毎日14,000カ所を超える物流拠点や店舗へ、ドライ、チルド、フローゼン食品を供給し、関東を中心に30カ所の拠点で仕分けから保管、配送まで行っています。「**品質は最重要項目**」とし、配送品質と安全を両立させ、その成果を上げることで業務と売り上げの拡大を図り、「**CS(顧客満足) = ES(社員満足) = CS(会社の充実)**」として福利厚生と人財育成に注力しています(図1、写真1、2)。



図1 「品質は最重要項目!」を行動規範とし、仕組みの改善とともに取り組む。「顧客の満足=社員満足」として人財育成のための様々な取り組みを用意



写真1 乗用車など豪華商品が当たる安全初夢大会(左)や海外研修など、慰労イベント、福利厚生、SD(サービスドライバー)教育制度などの充実化を図る



写真2 2017年3月、埼玉県滑川町に総延長700mのコースを備えた研修施設



- 所在地: 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10-17 シーノ大宮サウスウイング16階
- 設立: 1955年1月
- 代表者: 代表取締役社長 横塚元樹
- 事業内容: 食品物流を中心とした配送業

SR導入 SRConnect 650台
事業用車両 1,100台*
※ 2017年3月末現在



“甘いデジタコ”より“厳しいSR”を選択
運転挙動のデータ化が功を奏した!!

2001年にSRの試験導入を開始。導入以前、事故の原因は、「ドライバーの運転習慣や性格によるもの」という認識でした。従来のデジタコも導入し、同一ドライバーによる運転総合評価を比べたところ、**デジタコが93.7点、SRが66点**で、より厳しい評価を出したSRを正式に採用しました(図2、3)。SR導入後、速度や停止、減速、ハンドル操作など全運転挙動を得点化するところが、指導員や管理者に高評価でした。

従来のデジタコとの比較(同一運行の評価の違い)

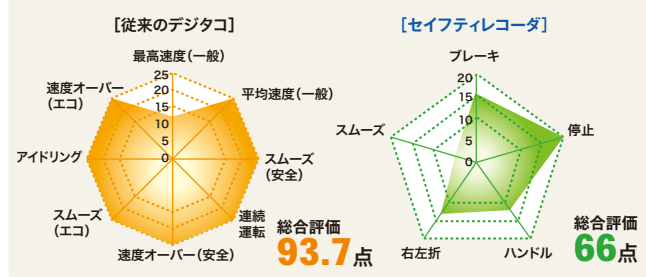
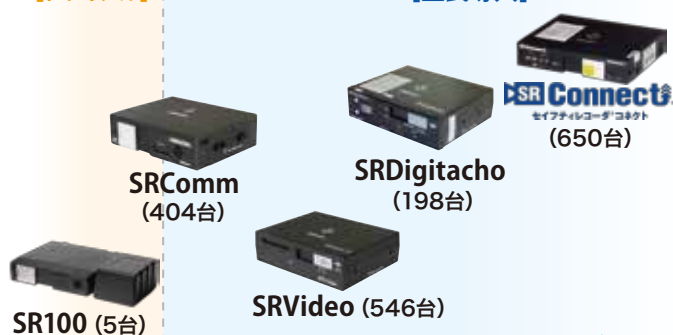


図2 SRと同時期にトライアル導入したデジタコとの評価の違い。デジタコの総合評価93.7点と比べると、SRのほうが明らかに厳格かつシビアな評価をしている

【トライアル】

【正式導入】



2001年 2003年 2005年 2008年 2016年

図3 『SRComm』のトライアルを終了後、2003年に『SRComm』、2005年に『SRVideo』、2008年に『SRDigitacho』を導入。現在は、最新機種『SRConnect』を650台の車両に搭載

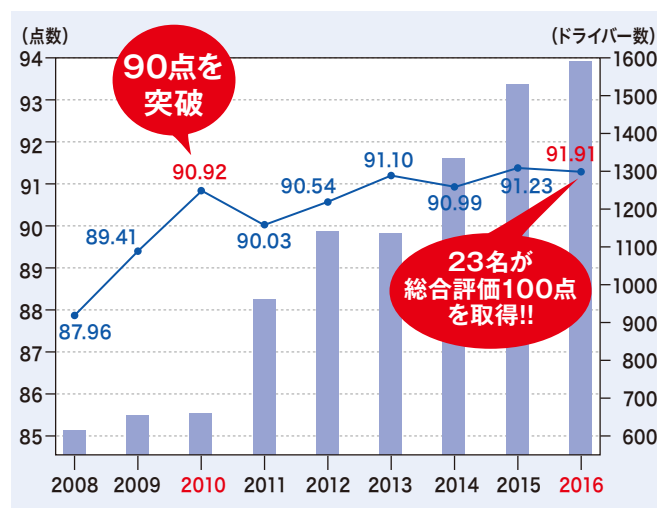
データに基づく、危険挙動や事故原因の分析と探究が可能になり、具体的な指導に結実しました。

「運転技術」「安全意識」「燃費」が向上 SR導入によって得られた3つの効果

SR導入後、**全社平均得点アップに伴い事故も減少。運転技術とともに安全意識、燃費まで向上**。現在は最新機種SRConnectを導入。2010年には、全社平均90点以上になりましたが、2012年を境にドライバー数の上昇と未経験者増が重なり、点数も伸び悩んでいます。

一方、2016年には全社で23名のドライバーが100点を出しています(グラフ)。

SRによる運転指導は、「急」のつく運転操作をしないことに尽きます。車速も高速で80km、一般道では55km以下(もしくは法定速度以下)を徹底させることで、大きな事故がなくなりました(写真3)。



グラフ 2008年から2016年までのSR得点(全社平均)の推移。2010年に90点をクリアしたが、その後、ドライバー急増のため微増に。反面、2016年には、23名のドライバーが100点を出すようになった

安全への取り組み強化こそが 運送会社を成長へ導く

SRConnectでは「バック診断」が追加され、構内外での「バック時の3秒ルール」を徹底しています。リアルタイムに動態管理ができ、荷主様からの配送状況確認に、迅速かつ柔軟に対応可能となりました(図4)。

NFCカードにより点呼時の作業や日報作成が自動化され、事務的作業負担が軽減。SRと連動可能なアルコール検知器『ST-3000』により、点呼と日報の一元化も実現しました(写真4、詳細は次頁参照)。クラウド管理のため、本社から各営業所の運行データをいつでも確認可能。社内基幹システムとも連動させ、勤怠や、運行状況も把握でき、集計処理などの管理業務の負荷軽減も図れました。安全への取り組みは「奥が深く」、弊社の責務です。これからも継続しつつ、会社をもっと成長させていきたいです。



写真3 各拠点でSR得点を競い合うキャンペーンを実施(左)。右は帰庫後に行われる点呼の様子。管理者、ドライバーとともにレーダーチャートを確認しながら、「運転の振り返り」を入念に行う



写真4 SRConnectとサンコーテクノ製アルコール検知機の連動で、点呼上の機能とデジタルの機能が一体化。運転作業日報として帳票出力が可能になった

【SRConnectとSRクラウドによる同社のシステム全体像】

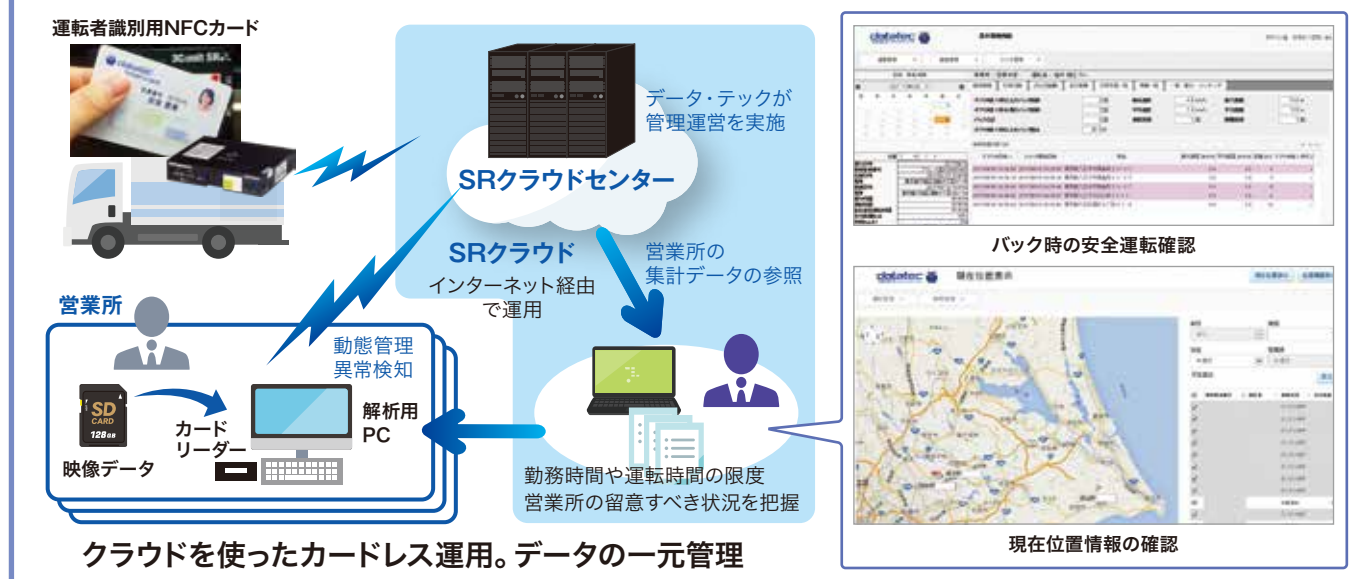


図4 アサヒロジスティクスの『SRConnect』を利用したシステム概要図。ドライバーの運行データは、すべてSRクラウドにて管理するため、本社からいつでも確認可能。リアルタイムに動態管理もできるので、事故やトラブル、配送遅延クレームなどに迅速に対応できる

SRデータと点呼システムを一元管理 運送会社での現場点呼の効率化を図る

サンコーテクノ株式会社 様

- 所在地：千葉県流山市南流山三丁目10番地16
- 設立：1964年5月15日
- 代表者：代表取締役社長 洞下 英人
- 事業内容：建設資材®、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工および輸出入
※あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等



機能材本部 機能材営業部 部長
坂口 正一

写真 サンコーテクノ製の呼気アルコール検知システム『ALCGuardian(アルコガーディアン)』。アルコール検知器『ST-3000(左)』で測定した結果をPCで管理できる



ST-3000

複数枚にわたる帳票を1枚に集約化 運送会社の“現場の声”を実現化

2011年5月、アルコール検知器使用等の義務化にともない、アサヒロジスティクス様がアルコール検知器を導入(写真)。当時、「飲酒管理データ」と「運行データ」は別々に扱い帳票出力されていましたが、慌ただしく、迅速さを要する現場では、帳票の一元管理が求められていました。

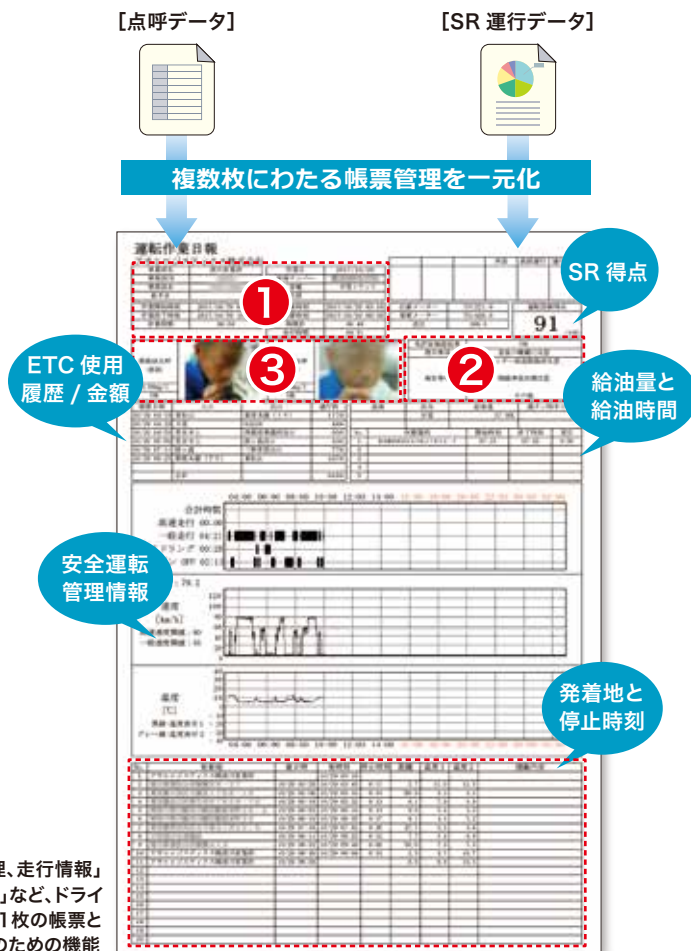
そこで、データ・テックとともに、「SRの運行データと点呼システムのデータを一元化し、運転作業日報として集約」を目的とした新システムを共同開発。運行データと点呼データはもちろん、ETC使用履歴から給油量、休憩時間、発着地・停止時刻の記録まで1枚の帳票として出力可能にしました(図)。現在、アサヒロジスティクス様の約20カ所の拠点で実動中です。

弊社は単に製品の提供だけではなく、「基幹システムとアルコール検知器の連動」「ソフトのカスタマイズ」「点呼業務の簡素化」「IT点呼の実施」など、お客様のお悩みを解消するサービスをご提供していきます。

お問い合わせ先: ☎ 0120-071-735※

※ 24時間受付

図 運転作業日報には、「①ドライバー名、作業時間、車両管理、走行情報」「②運転免許証確認、指示報告事項」「③乗務前後の検査結果」など、ドライバーに関する点呼や運行、車両管理などに関する全データが1枚の帳票として出力可能。③のWEBカメラ写真は、なりすまし不正防止のための機能



データ・テックが「IoVehicle® (アイオービークル)」を提唱

つながる安全、つながる未来。トラック物流の安全を創造

データ・テックは、「IoT (モノのインターネット)」による情報利活用の時代を見据えて、「クルマのインターネット」に特化した「IoVehicle® (アイオービークル以下IoV)」を提唱。IoVを実現させるサービスを提供する。

「つながる安全、つながる未来」をスローガンとし、SRシリーズとSRクラウドの技術ノウハウを基盤に、「車両」「運転診断」「道路環境」「ドライバー情報」などのデータを統合管理。運輸/物流の現場ライクな機能とサービスを、インターネットの利便性に融合させていく。

お問い合わせ先: 03-5703-7060

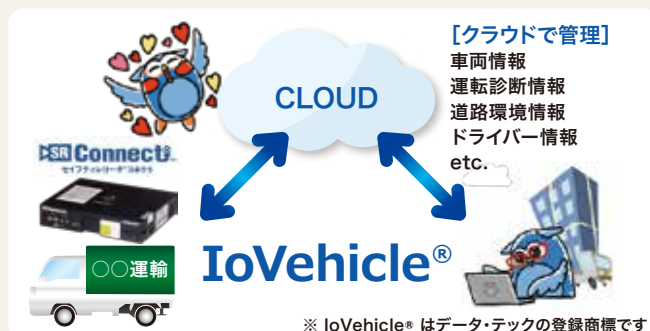


図 ネット接続を前提とし、様々なデータを遠隔地からリアルタイムに確認可能。カードレス運用で現場ドライバーの負担を軽減させ、多角的な情報をリアルタイムに集約化することで、管理者の安全運転指導をよりわかりやすく、具現化する



第6回 SRグランプリ結果発表と表彰式 新雪運輸が団体&個人9部門を受賞!

第6回SRグランプリは、2016年7月1日～2017年6月30日までに全国のドライバー429名が参加し、厳正なる審査の結果、各賞が決定しました。



最多9部門を受賞した新雪運輸様へのトロフィー授与

各賞受賞企業様の声

【団体賞】小型トラック1位/3位、同中型トラック1位/2位/3位、【個人賞】小型トラック1位/3位、同中型トラック2位/3位
【特別賞】小型トラック1位/2位

新雪運輸株式会社 様 「今回の結果を日々の運行に活かし、これからも事故防止・事故撲滅を継続しながら、今後の安全運転につなげていきます」

【団体賞】大型トラック1位、【個人賞】小型トラック4位、中型トラック1位/5位、大型トラック1位/2位/4位

【特別賞】中型トラック2位、大型トラック1位/3位

株式会社明送 様 「日々ドライバーを指導教育してきたことが、SRグランプリ受賞という結果になりました。これに“あぐら”をかくことなく、次回の受賞もめざします」

【団体賞】大型トラック2位/3位、【個人賞】大型トラック2位/5位

東電物流株式会社 様 「団体、個人とも1位を逃しましたが、100点を割るときにこそ、ドライバーが運転を振り返り、安全意識が高まります。今度は社員一丸で1位を狙います」

団体賞 乗用車部門

第1位 株式会社ガスエネルギー大分 宮脇グループ **87.12点**

団体賞 小型トラック部門

第1位 新雪運輸株式会社 野田営業所 **97.60点**
第2位 越野運送株式会社 本社営業所 **95.17点**
第3位 新雪運輸株式会社 川口・東川口営業所 **94.43点**

個人賞、特別賞は弊社サイトをご覧ください。
<http://www.datatec.co.jp>

団体賞 中型トラック部門

第1位 新雪運輸株式会社 三郷営業所B **98.09点**
第2位 新雪運輸株式会社 川口・東川口営業所 **97.72点**
第3位 新雪運輸株式会社 三郷営業所A **97.17点**

団体賞 大型トラック部門

第1位 株式会社明送 東北営業所 **99.42点**
第2位 東電物流株式会社 中央支社 横浜事業所 **99.29点**
第3位 東電物流株式会社 群馬支社 上尾事業所 **98.51点**



第7回 SRグランプリのエントリー大募集!! 開催期間 2018年6月30日まで



SRお客様交流会 分科会レポート

1. どうする!? 労務時間管理

労務・運行管理に関する管理の手間や時間を減らす、システムの改善が求められる。ドライバーの意識改善も必要。

2. 効率アップで生き残る

ドライバー不足時代に効率アップは必須。業務を一括管理できるシステムを活用。

3. 失敗しない人材採用・定着の取組

若者の価値観の変化を踏まえ、社内制度に柔軟性と採用の幅を持たせる。ドライバー、その家族も包括した仕組みも必要。

4. IT機器でさらなる安全 (1)

昔も今も点呼の質は大事。作業の簡素化、運行データの分析による安全運転指導の充実や、利便性向上がもっと求められる。



5. IT機器でさらなる安全 (2)

SRで法律準拠の書類づくりや業務管理作業を簡略化し、安全を追求していく。ビッグデータ解析による事故防止も手がけてほしい。

6. SRの有効活用でプラスワン

SRの安全指導には、管理者のコミュニケーション力や根気も大切。ドライバーへの自覚や気づきの喚起こそが、SR導入効果を高める。



データ・テックがついに移転!!

データ・テックは移転し、今年11月27日(月)から心機一転、業務を開始します。新オフィスは、JR蒲田駅(西口)から徒歩7分、池上線の蓮沼駅より2分の立地です。各部署を1フロアに集約し、文字どおり「見とおし&心地良さが溢れる新オフィス」で皆様を心よりお待ちしております。

ものづくりの
大田区蒲田にこだわり
お客様とともに
成長して参ります。



〒144-0051
東京都大田区西蒲田7-37-10
グリーンプレイス蒲田11階
[アクセスは下記サイトでご確認ください]
<http://www.datatec.co.jp/company/access/>

第26回 SRお客様交流会

● 2018年3月9日(金) 開催予定 [東京・大田区産業プラザPiO]

その他、イベント、セミナーの詳細は、弊社ホームページにアクセス!!

URL: www.datatec.co.jp



株式会社 **データ・テック**

〒144-0051
東京都大田区西蒲田7-37-10
グリーンプレイス蒲田11階

TEL.03-5703-7060
FAX.03-5703-7063
<http://www.datatec.co.jp>

2017©株式会社データ・テック
SRNEWS_VOL.69 1711C30-(0)